

# キッチンNagomiにおける菓子製造部門のスタートアップ事業

NPO法人 和 (なごみ)

理事 鴫 明浩さん



鴫 明浩さん

平成26年度 採択事業

## 震災避難者との絆を結ぶ「キッチン Nagomi」

「キッチン Nagomi」は、東日本大震災および福島県の大原事故により京都府内へ避難された方に向けた就労支援の一環として、平成24年9月京都市下京区の大宮七条にオープンしました。運営するのはNPO法人和(なごみ)で、避難者の就労支援や人生を再構築する支援をはじめ、被災地における直接の支援にも尽力しています。

京都市内においては、避難者が集まることのできる場所として震災後約7ヶ月の時期に現在の店舗とは別の場所でサロンを開いたのが始まりでした。延べ3千人以上が利用し、震災の体験を語り合う姿を見た理事長の大塚さんは、「避難者同士の支え合いだけでなく避難者の自活をサポートする仕組みの構築が必須である」という想いで店舗をオープンさせました。



「キッチン Nagomi」の外観

また、背景には避難者がいかにして地域に溶け込み心豊かな生活を送ることができるか、という課題もありました。そのため、キッチン Nagomiは避難者であるスタッフの就労支援を担っているだけでなく、故郷を離れて生活する境遇を被災者同士で共有できる場、地域住民との交流の場としての機能も担っています。当初、営業はランチタイムの昼食と喫茶に限られていましたが、平成25年7月から夜間の営業も行うことで交流の場としての役割が強化されるようになりました。(平成27年10月で夜間営業は終了)

## オリジナルの無添加スイーツを開発して店の付加価値をアップ

平成26年には、喫茶メニューの充実を図るために菓子製造部門のスタートアップ事業を計画し、「元気な地域づくり応援ファンド」に採択された同法人は、消費者にとって安心な無添加スイーツを製造し、自店舗での販売の他、類似のコミュニティ・カフェや児童施設、企業の福利部門への卸売などの展開を考えています。

食の安全が求められる昨今において、無添加の洋菓子



キッチン Nagomiの厨房

に対するニーズは高まる一方ですが、大規模な洋菓子製造業者でも新規に製造ラインを組むことは難しく、市内に多数ある小規模なカフェではスペースやコストの問題で自店での製造が困難なことから、製造の外部委託が必須となっている背景があります。

そこで、キッチン Nagomiでは主力商品となっている無添加スイーツのテイクアウトや卸販売を可能にするため、厨房に隣接する従業員の厚生スペースを改修して保健所からの製菓販売許可も得ることで、今回の事業を進める体制を整えます。これまでに開発している無添加のオリジナルスイーツは、ほうれん草やニンジンの野菜シフォンケーキ、京野菜のゼリー、アップルクーヘン、赤ちゃんも安心の豆乳ムース、米粉と豆乳のケーキ、亀岡産無添加ハーブのゼリーなどで、地産地消にも対応した商品づくりに力を入れています。

## 地域へ浸透することで安定した就労の場づくりを

また、同年には京都府ソーシャル・ビジネス・センターから「七条通の活性化を目的としたまちづくり事業」を受託し、地域の商店主や団体との連携を密にした活動を進めています。そのため、現在では地域の住民から「面白い事をやっている場所」として認識され、固定客も付くようになりました。

「安心な無添加スイーツや料理は好評で、特に2～3歳の子どもを連れてお客様がランチや喫茶の利用で来店されます」と語る理事の鴫さん。今後は自店舗以外へのマーケティングにも注力するということですが、「東日本大震災の



新規購入のコンベクション

広域避難者の就労支援事業の成功事例は全国的にも珍しく、本事業はさらに就労の安定化を図ることに新規性がある」と語るように、避難者が安心して働ける場としての評価は増す一方です。

## 被災者の方が一歩前へ踏み出せるお手伝いができれば

「菓子製造部門は従業員の自主性を重んじており、皆それぞれ着実にスキルアップしている」と、事業の着実な進捗に喜びを感じる鴫さん。自主性を育みスキルも向上した従業員からは独立して店舗を構えたいという話も出てきており、現在は独立に向けた調整が行われているとのこと。

「被災者であるスタッフやその家族の人生にも関わる中で利益を上げていかなければならない事業です。様々な場面で気を遣うことは多いが、今回、従業員の自主性が育ったことは素晴らしい結果です。他の就労支援事業においても良いモデルになります」と鴫さん。

「一人ひとりが選択して決めた人生をお手伝いできればいい。ちょっと手を貸したり、背中を押したり。それで一歩を踏み出せる人がいれば」と大塚さんも語ります。こうしたキッチン Nagomiにおける事業の展開に加え、今後NPO法人和が主催する他の支援事業にもますます期待が持たれます。



キッチン Nagomiの店内

## 事業概要

NPO法人 和 (なごみ)

<http://www.fucco-nagomi.com/>

代表：理事長 大塚 茜

業種：飲食業、保育園、東日本大震災復興支援事業

創業：平成24年 設立：平成25年

住所：〒600-8833 京都市下京区七条大宮西入酢屋町10

TEL：075-353-5181 FAX：075-353-5185